

鏡川流域パートナーシップだより No.170 R6.8.16



新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

「Biome(バイオーム)」を利用して様々な植物を調べてみました！

今回の「鏡川流域パートナーシップだより」は、インターンシップ生の小松(龍馬情報ビジネス&フード専門学校公務員学科1年)が担当させていただきます。今回は「Biome」というアプリを使って鏡川流域の植生について調査しました！実際に使ってみて感じたことを報告します！

「Biome」とは…最新のAIを備えている無料アプリのことで、見つけた動物や植物の写真を撮るだけで名前がわかります。

実際に鏡川みどりの広場で使ってみました！

動植物を調べるには、その見た目から名前を判断するのに知識が必要ですが、このアプリを使って写真を撮ると、一瞬で名前が分かるので次々と写真を撮りたくなくなりました！



近くの山内神社では、まちのコイン「ぼっちり」のQRコードがあり、読み込むだけでぼっちりがもらえ、鏡川清流保全条例に基づく自然環境保全区域を回るスタンプラリーにもチャレンジできます。↓



鏡川流域パートナーシップ > 最終利用日時24時間以内

【自然環境保全区域にチェックイン】山内神社の森

+300 もらう

SDGs >

鏡川みどりの広場は、カヌーの練習やイベントの会場としても使われます。(こちらは私が高知市納涼花火大会で撮った写真です。↓)



このふたつの植物。とても似ているので最初は同じものだと思いました。ですが、写真を撮って「Biome」で判定してみると…



違う種類のサクラという判定になりました！
このように一見同じような見た目でも違うものもあり、「Biome」を使うことで、これまで気づけなかったことに気がつくことができます。

「Biome」を使ってみて、身近にあるものでも知らないことがたくさんあることに気がつきました。今回は植生の調査でしたが、私たちにとって当たり前にある鏡川に気づかされることは、まだまだたくさんあるのではないかと感じました。「Biome」は写真を撮るだけなので、どんな年代の人でも手軽に使うことができ、自然環境について知ってもらうのにぴったりだと思います。発見したいきものを友人や家族とシェアして、鏡川流域の「いきもの図鑑」を作りましょう！



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone

Android